



大分川ダム全景

## 玉来ダム

所在地：(左岸)竹田市大字志土知字西谷  
(右岸)同大字川床字仏蔵  
河川名：大野川水系玉来川  
形式：重力式コンクリートダム  
ゲート：オリフィスによる自然調整×2門  
堤高：52m  
堤頂長：145m  
流域面積：87km<sup>2</sup>  
総貯水容量：409万m<sup>3</sup>  
本体 着工：2016年  
現在の状況：工事中



岩盤を掘削中の現場(2018年11月8日)



本体コンクリートの初打設(2018年10月29日)



本体工事の安全祈願祭(2017年7月25日)



18日は  
土木の日

# 県内のダム特集

『県内でダムカードを配布しているダム』

・大分川ダム(大分市) ・玉来ダム(竹田市)  
・大山ダム(日田市) ・稲葉ダム(竹田市)  
・下釜ダム(日田市) ・安岐ダム(国東市)  
・松原ダム(日田市) ・行入ダム(国東市)  
・北川ダム(佐伯市) ・野津ダム(臼杵市)  
・黒沢ダム(佐伯市) ・耶馬溪ダム(中津市)  
・床木ダム(佐伯市) ・青江ダム(津久見市)  
・芹川ダム(竹田市)



大分県内には、ため池を含み、〇〇ダムという名が付くものが、73カ所ある(日本ダム協会のHP参照)。現在、試験湛水の中の大分川ダム(大分市)が脚光を浴びていることもあり、ダムの魅力が再認識され始めている。ここで紹介しきれない、魅力あるダムはたくさんある。「土木の日」の18日は、県内各地のダムを訪れ、秋の景色をたのしんでみては。

## 大山ダム



ダム堤体から巨人が(2013年9月29日)

所在地：日田市大山町  
河川名：筑後川水系赤石川  
形式：重力式コンクリートダム  
堤高：94m  
堤頂長：370m  
総貯水容量：1960万m<sup>3</sup>  
本体 着工：2007年  
現在の状況：2013年完成



竣工式(2013年3月17日)



洪水吐からのダムの風景

## 大分川ダム(ななせダム)

所在地：大分市大字下原地先  
河川名：大分川水系七瀬川  
形式：中央コア型ロックフィルダム  
ゲート：自然調整方式  
堤高：91.6m  
堤頂長：400m(洪水吐含むと約500m)  
総貯水容量：2400万m<sup>3</sup>  
本体 着工：2013年  
現在の状況：試験湛水中(2019年春まで)

### ダム工事の動き ▶▶▶▶▶▶▶▶



本体の起工式(2014年2月16日)



定礎式(2016年2月28日)



湛水式(2018年2月17日)

## 石山ダムと石山天空橋

【石山ダム】  
所在地：杵築市大字船部  
河川名：高山川水系船部川  
形式：ロックフィルダム  
堤高：41m  
堤頂長：142.4m  
総貯水容量：88万m<sup>3</sup>  
本体 着工：1970年  
現在の状況：1981年に完成

【石山天空橋】  
延長：213m  
構造：単純下路式  
ニールセンローゼ桁橋



湖面に映る天空橋(2018年11月5日)

## 稲葉ダム



木々が色付くと絶景になる(2018年11月8日)

所在地：竹田市久住町大字白丹  
河川名：大野川水系稲葉川  
形式：重力式コンクリートダム  
堤高：56m  
堤頂長：233.5m  
総貯水容量：727万m<sup>3</sup>  
本体 着工：2003年  
現在の状況：2010年に完成



ダムカードの気分が味わえるフォトフレーム

### 第2展望所が リニューアル



ダム式万歳顔出しパネル

